

BASF、三重県における協力に関する覚書に調印

2007年1月25日

BASF ジャパン(本社:東京千代田区)は本日、三重県および四日市市と、高い技術を有する県内のベンチャー企業および、中小企業の技術革新に協力する覚書に調印致しました。

この覚書では、三重県内企業の技術の高度化をはじめ、教育機関や研究機関との協力および、共同研究を視野に入れているほか、BASF はこれまで半世紀近くにわたり貢献してきた三重県や四日市市などの地域社会への持続可能な発展をサポート致します。

BASF イースト・アジア・リージョナル・ヘッドクォーター社長のティルマン・クラウフは次のように述べています。

「今回の覚書への調印は、日本のお客様に対する BASF の取組みを象徴するものです。同時に、特に自動車やエレクトロニクス、製薬といった BASF がターゲットとする業界において、革新的な技術を持つ地元企業と一緒に、新たなビジネスチャンスを創造するものでもあります。今後、大学や研究機関とも密接に連携し、地域社会発展に貢献する活動を一層充実していきたいと考えています」。

BASF が三重県四日市市に製造拠点を置いたのは 1968 年にさかのぼります。その三重県は今日では、「グレーター名古屋」地域とも呼ばれ、自動車やエレクトロニクス、IT などの大手企業の製造拠点や研究施設が数多く存在する日本有数の産業拠点となっています。

BASF ジャパン株式会社 代表取締役社長、成尾友良は次のように述べています。

「日本は、BASF にとって非常に重要な市場です。私たちはインテリジェントなソリューションを提供し、革新的な日本企業が各業界で成功を収められるよう尽力していきたいと考えています」。

BASF では、四日市市で過去 4 年にわたり、夏休み期間中に子供向けの理科実験教室を開催するなど、これまでも地域社会の一員として社会的責任を果たす活動を行ってきました。今回の覚書調印をきっかけに、こうした地域住民の方々と触れ合う機会を今後もさらに増やして参ります。

###

■BASFについて

BASF(ビーエーエスエフ)は「ザ・ケミカル・カンパニー(The Chemical Company)」を標語に掲げる世界の化学業界のリーディングカンパニーです。BASF の製品群は、化学品、プラスチック、高機能製品、農業、ファインケミカルから原油や天然ガスに至るまで多岐にわたります。あらゆる業界のパートナーとして信頼されている BASF は、高度なソリューションと高品質な製品によって、顧客のさらなる成功をサポートしています。BASF では、新技術の開発により新たな市場を切り開いています。また、経済的な成功、環境保護、および社会的責任を果たすことでより良い未来に貢献しています。約 9 万 5,000 人以上の従業員を擁する BASF は、2005 年度には 427 億ユーロ(約 6 兆円)を超える売上高を計上しました。BASF の株式はフランクフルト(BAS)、ロンドン(BFA)、ニューヨーク(BF)、チューリッヒ(AN)の各株式市場において取引されています。BASF のインターネットホームページアドレス www.basf.com です。BASF ジャパン(株)のホームページのアドレスは、www.japan.basf.com です。

■この件についてのお問い合わせ先

BASF ジャパン株式会社

コーポレート・コミュニケーションズ 山田 真紀 / Tel. 03-3238-2341(携帯:090-4520-2881)

BASF ジャパン株式会社
コーポレート・コミュニケーションズ
住所: 〒102-8570
東京都千代田区紀尾井町 3-3
TEL: 03-3238-2341
FAX: 03-3238-2514
URL:<http://www.japan.basf.com>